

第十四回徳川記念財団コンクール in 岡崎

徳川家康公

作文コンクール



「東照宮御影」
徳川記念財団所蔵

課題：「江戸のふるさと岡崎～家康公生誕のまち～について」
題名・内容は自由

応募期間：平成29年9月1日(金)～9月30日(土)

表彰式：平成29年11月25日(土) 会場：長誉館

主催／公益財団法人 徳川記念財団

後援／岡崎市、岡崎市教育委員会、岡崎商工会議所、中日新聞社、大樹寺、伊賀八幡宮

協賛／おかざき塾、タニザワフーズ(株)



徳川宗家十八代当主
徳川記念財団理事長
徳川 恒孝



徳川宗家十八代当主
徳川記念財団 理事長
徳川恒孝

岡崎は、徳川家発祥、家康公生誕の地です。ここで、岡崎市内の小中学生を対象に、徳川家康公にちなんだ作文コンクールを開催して、今年は第14回を迎えます。家康公の、岡崎から始まった75年の生涯は、重き荷を負い遠き道を行く困難な道のりでしたが、戦乱の世を治めて、265年に及ぶ江戸の平和国家を築きました。

江戸時代が去って久しく、世界は新たなグローバル化の大波の中で指針を求めて混迷する昨今ですが、家康公の志、三河武士の生き方、そして江戸社会の仕組みを今一度検証して、21世紀の世界を整えてゆきたいものです。

岡崎の、次代を担う子供たちが大きな誇りと深い意識をもって、この地だからこそ生み出す若い智恵で、すばらしい作文を寄せていただければ幸いです。

東照公御遺訓

人の一生は重荷を負って
遠き道をゆくが如し
いそぐべからず
不自由を常とおもはば不足なし
こころに望おこらば
困窮したる時を思ひ出すべし
堪忍は無事 長久の基
いかりは敵とおもへ
勝事ばかり知てまくる事を
しらざれば害其身にいたる
おのれを責て人をせむるな
及ばざるは過たるよりまされり

〈家康公(東照公)が遺した人生の教え。〉

(人の一生というものは、重い荷を背負って遠い道を行くようなものだ。急いではいけない。いつも不自由していると考えれば、不満が生じるはずがなく、欲心が起きたときには、自分の過去にあった苦しい時代を思い出すことだ。「堪忍」こそが無事に長く安泰できる基礎で、「怒り」は敵と思いなさい。また、人生では勝つことばかり知って、負けを知らないことは危険である。自分の行動を反省し、人の責任ばかりを追求するな。何かをやるとき、なかなか到達できないほうが、やり過ぎてしまっているときよりは良い)

家康公御遺言

わが命旦夕に迫るといへども、
將軍斯くおはしませば、
天下のこゝ心安し。
されども將軍の政道その理にかなわず
徳兆の民、艱難することあらんには、
たれにてもその任にかわらるべし。
天下は一人の天下に非ず天下は
天下の天下なり。
たとへ他人天下の政務とりたりとも
四海安穩にして万人その仁恵を
蒙らば、もとより家康が本意にして
いささかも恨みに思うことなし

現代語訳

私の命ももう少しで尽きようとしているが、今は將軍(秀忠)がいるので天下のことは安心していい。しかし、將軍の政道が良くなく、日本中のおおくの民が苦しむようなことがあれば、この中の誰でもいいから將軍に代わるべきだ。天下は一人の所有物ではなく、天下万民のものである。たとえ徳川以外の者が、將軍の代わりとなり、日本の政治を行ったとしても国全体が平和で穏やかであるならばそれはもとよりこの家康が一番望むことであり、少しも恨みに思うことはない。

第14回「徳川記念財団コンクール in 岡崎」徳川家康公作文コンクール募集要項

課題 「江戸のふるさと岡崎～家康公生誕のまち～について」 題名・内容は自由

自分の住むまちと家康公について、本を読んだり、調べたり、近所の史跡に行ったり、観たり、聞いたりして、感じたこと・思ったことを書いて下さい。
【参考例】 ①はくの、わたしのまちと家康公(三河武士)、などについて ②家康公がつくった江戸時代、などについて
③いまに残る江戸時代の生活や文化、などについて

対象 岡崎市内の小・中学校に在学中の児童・生徒

- 応募規定**
- 応募作品は自作の未発表のものに限り、1人1編とします。 ●作品の著作権は、主催者に帰属します。
 - 作品の返却はしませんので、必要な場合は事前にコピーをして下さい。 ●日本語により表記されたものに限りです。
 - 作品の枚数は表紙を除き400字詰め縦書き原稿用紙で、小学校1・2年生は1枚程度、小学校3年生は2枚程度、小学校4～6年生と中学生は4枚程度とします。(図表も必要な場合は含む) 右上端をホチキスで留めてください。
 - 鉛筆(HBまたはB)で濃く書いてください。応募する児童・生徒の直筆に限りです。
 - ワープロ・パソコンの作品は認めません。
 - 作品には表紙を付け、「題名」、応募者の「学校名、名前(ふりがな)、学年、住所、電話番号」を記入してください。

応募期間 平成29年9月1日(金)～9月30日(土) 当日消印有効

送付先 応募方法 応募は学校ごとに取りまとめて応募リストに必要事項をご記入のうえ、作品と同封し送付して下さい。
送付先事務局 〒444-0912 岡崎市井田西町1番地2 タニザワフーズ(株) 徳川記念財団コンクール in 岡崎 事務局係

審査要項

最優秀作品	徳川賞 1編	岡崎市教育委員会教育長賞 1編	大樹寺貫主賞 1編	受賞者に賞状ならびに副賞を授与いたします。
優秀作品	家康賞 3編	岡崎商工会議所会頭賞 1編	伊賀八幡宮司賞 1編	応募者全員に参加賞を差し上げます。入賞発表は11月初旬に行い、事務局より所属小・中学校を通じ入賞者へ通知する。
	岡崎市長賞 1編	中日新聞社賞 1編	龍城神社宮司賞 1編	

10月中旬に審査を行い最優秀賞1編、優秀賞10編、合計11編程度を選定する。

表彰式 表彰式は平成29年11月25日(土)長善館にて行います。
授与者/徳川恒孝氏(徳川宗家十八代当主 徳川記念財団理事長)ほか

その他 入賞者名及び優秀作品の一部は、公益財団法人 徳川記念財団のホームページに掲載します。
また、入賞者は、報道発表において、氏名・学校名・作品・顔写真を掲載される事がありますので、あらかじめご了承ください。